



十文字西地区 交流センター報

●令和5年度－11号
令和6年2月1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一丁目330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター
センター長 近 孝夫



川前・中島
いきいきサロン
〜太極拳の様子〜

西地区の皆様お元気ですか。

正月早々、日本列島には様々な事故や災害がありました。その中でも特筆するのが能登半島沖の大地震であります。未だに家族の安否が確認できず、復興には長い時間を要すると想像されます。早い時期の復興復旧をお祈りしたいものです。

さて、2月1日（木）に、まちづくり推進部（地域づくり支援課）主催の第1回地区交流センター「大交流会（自慢紹介）」が浅舞地区交流センターで実施されます。我が西地区交流センター自慢紹介の一つに「地区交流センターと川前・中島いきいきサロンとの連携」があります。この事については松野利喜男氏から発表して頂き、作品展示には「十文字和紙」と「陶芸」による作品を展示し、我が地域の伝統文化の継承と保存を強く訴えたいと思います。

2月は寒さは厳しいですが、日増しに日が長くなり春の到来が感じられる季節でもあります。しかし、まだまだ寒い日が続きますので日々の生活には十分注意してください。

🌸🌸🌸🌸🌸 2月 如月(きさらぎ)の歳時記 一部 🌸🌸🌸🌸🌸

- 如月** ⇨ 2月の別名ですが諸説があります。有力なのは寒さから「衣を更に重ねて着する月」→「衣更着月」から転じたとする説が有力とのこと。
- 節分** ⇨ 2日。→本来節分は季節の分かれ目を意味し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日を指し、年4回あります。その中でも立春は旧暦時代に正月と同じくらい大切な日とされていた。現在は立春の前日を指す。
- 建国記念の日** ⇨ 11日。初代天皇神武天皇が紀元前660年、国を建国したとされる日。それを祝し、国民の祝日となっている。



～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆平安時代の随筆家 鴨長明「方丈記」の一説」より

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」

《意味》 時間の流れは日々続いているが、昨日はもはや過去へと流れ去った。今日という日は、新たにやって来た一日なのである。

※「昨日を後悔せず、今日という日を生きる」

★十文字西地区交流センター事業 どんど焼きを実施 1/21(日)★

- 今回のどんど焼きはあいにくの雨模様でしたが、主催者である交流センター運営協議会が屋内で神事を執り行い、地域の無病息災と五穀豊穡を祈願しました。その後グラウンドでお焚き上げを行い、無事終了しました。



★交流館情報★～十文字和紙愛好会作品展開催中！～ 令和6年3月末まで

- 十文字和紙で作成した様々な作品を展示中です。柔らかな風合いのウェディングドレスや和紙を糸状にして織った壁飾り、柿渋で染めた帽子など珍しい作品から、かわいい小物の人形やアクセサリまで揃っています。みなさんどうぞお越しください！

